

SUPER MODE 設定手順

設定を始める前に必ずバックアップを用意してください。設定ミスによりエラー画面、または画面表示に異常が起きても MIDI CAPTAIN の内部を全て削除してバックアップデータに移せば復帰します。

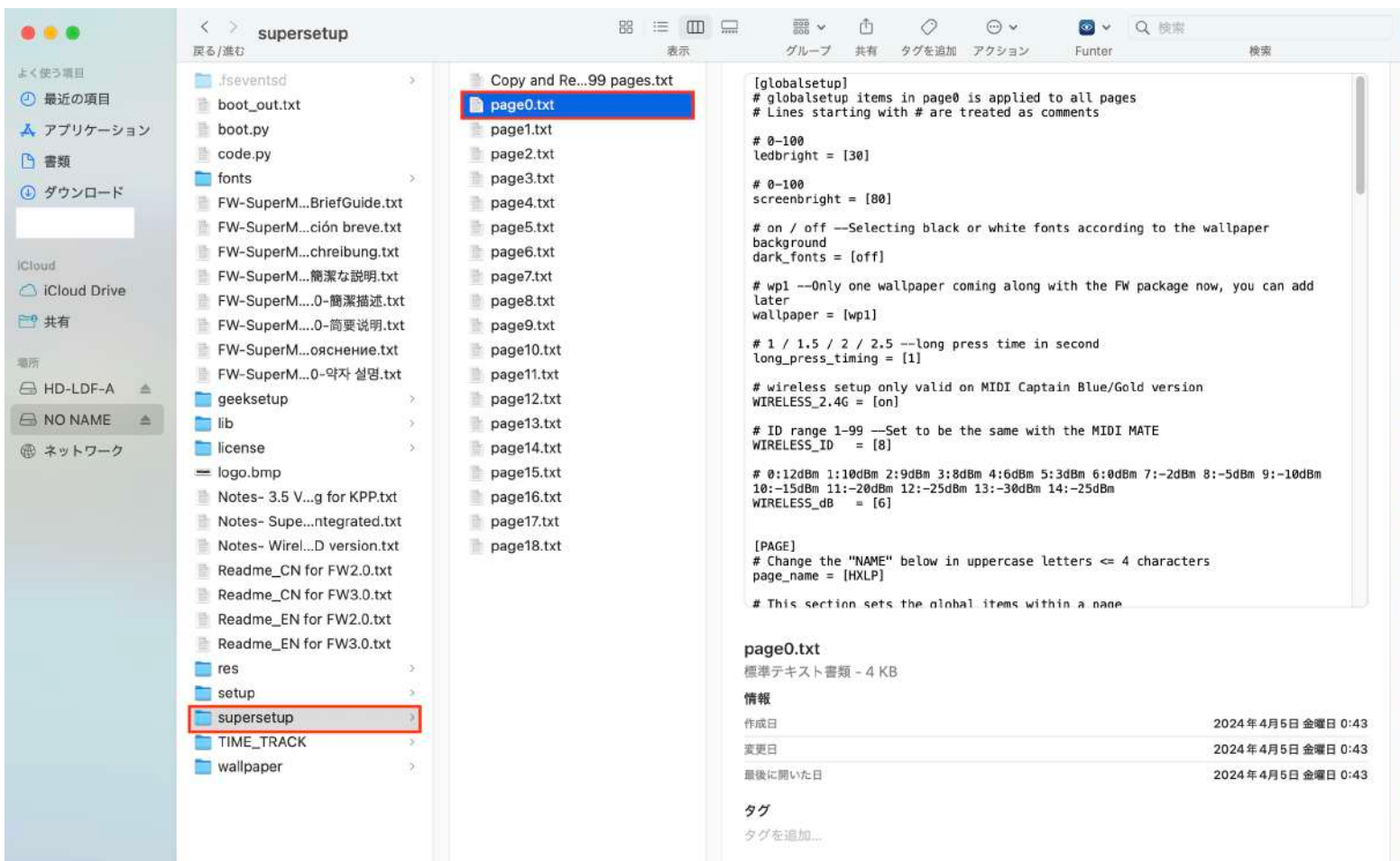
SUPER MODE は GEEK MODE よりも更に細かな設定が可能なモードです。
付属の USB ケーブルを Windows もしくは mac に接続してスイッチ「1」を押したまま電源を入れて USB モードを起動します。



USB モードが起動するとデスクトップ上にアイコンが出てきますので、アイコンを開き下記の「superssetup」フォルダを開いて下さい。

SUPER MODE は 18 ページがありますので好みのページを開いて設定を行います。

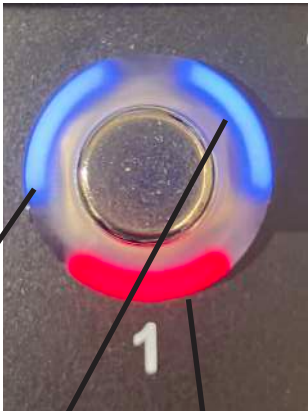
ここでは一番最初のページ「page0.txt」を開いて解説します。



スイッチ設定手順

指定のテキストファイルを編集する箇所は下記のコードのみです。その他のコードは編集しないで下さい。
本体の画面とコードを参考にして好みの CC#、PC#、NT # を編集して上書き保存します。

keytimes=[3]



[key0] ← スイッチ「1」

```
keytimes = [3]
ledmode = [normal]
ledcolor1 = [0x666666][0x666666][0xff0000]
short_dw1 = [1][CC][69][0]
```

カラーコード カラーコード カラーコード

Channel No. CC No. Value No.

CC(コントロール No.)、PC(プログラムチェンジ No.)、NT(ノート No.) のいずれかを入力

PC,CC,NT ナンバーを各スイッチに割り当てるスイッチの名称は以下になります。

[key0]	[key1]	[key2]	[key3]	[key4]
[key5]	[key6]	[key7]	[key8]	[key9]

keytimes = [1] は、このボタンが単一の信号を外部機器に送信可能。

例えば keytimes = [3] は、このボタンが3回ループして3種類の信号が送ることが可能です。

上記の基本画面を確認すると「白丸」が3つ表示されています。

この「白丸」が順番に3通りのコマンド入力を設定して送信できます。最大9回まで設定可能。

LED モードは normal / select / tap のいずれかをテキスト編集してください。

select は選択されているすべてのキーが同時に1つだけ点灯することを意味します。

tap はテンポに合わせて2回スイッチを押すとそのテンポの合わせて点滅します。

カラーコードは6桁のカラーコードを検索して [0x○○○○○○] で入力して下さい。

「short_dw1」は「スイッチを短押しして信号を送る」という意味になります。

入力例

ledcolor1 = [0x666666][0x666666][0xff0000] 1 回目の押下の色を定義します（灰、灰、赤）。

3 つの角っこはカラーコードを示します。0x に続いて 6 桁のカラーコードを入力します。

short_dw1 = [1][CC][69][0] 1 回目の短押しで、CC コマンドを送信します。チャンネル 1、CC#69、VALUE#0 です。

ledcolor2 = [0xff0000][0x666666][0x666666] 2 回目の押下の色を定義します（赤、灰、灰）。

short_dw2 = [1][CC][69][1] 2 回目の短押しで、CC コマンドを送信します。チャンネル 1、CC69、VALUE#1 です。

ledcolor3 = [0x666666][0xff0000][0x666666] 3 回目の押下の色を定義します（灰、赤、灰）。

short_dw3 = [1][CC][69][2] 3 回目の短押しで、CC コマンドを送信します。チャンネル 1、CC69、VALUE#2 です。

[key0]

keytimes = [3]

ledmode = [normal]

ledcolor1 = [0x666666][0x666666][0xff0000]

short_dw1 = [1][CC][69][0]

ledcolor2 = [0xff0000][0x666666][0x666666]

short_dw2 = [1][CC][69][1]

ledcolor3 = [0x666666][0xff0000][0x666666]

short_dw3 = [1][CC][69][2]

keytimes = [3] なので
3 通りの信号を上から順番に
指定の信号を送信します。

[key1]

keytimes = [2]

ledmode = [normal]

ledcolor1 = [0x00ff00][0x00ff00][0x00ff00]

short_dw1 = [1][CC][61][127]

ledcolor2 = [0x666666][0x666666][0x666666]

short_dw2 = [1][CC][61][0]

keytimes = [2] なので
2 通りの信号を上から順番に
指定の信号を送信します。

[key2]

keytimes = [2]

ledmode = [normal]

ledcolor1 = [0xff0000][0xff0000][0xff0000]

short_dw1 = [1][CC][60][127]

ledcolor2 = [0x006600][0x006600][0x006600]

short_dw2 = [1][CC][61][127]

keytimes = [2] なので
2 通りの信号を上から順番に
指定の信号を送信します。

上記を参考に keytimes を 9 つまで増やすことが可能です。

[key0]～[key3]、[key5]～[key8] までコピー＆ペーストを活用して各スイッチを設定。

[key4] と [key9] は UP、DOWN スイッチなので編集しないでください。

編集後、上書き保存して設定完了。

正しい手順で USB 接続を切断して再起動してご使用頂けます。

テンプレートファイルが新しく現れますが何も手をつけずそのまま問題ありません。